



目標に近づくために

校長 熊木 崇

新しい学年での1か月が過ぎました。子供たちは、委員会、係、部活動なども決まり、やる気や期待も大きいことと思います。

新しい学年のスタートに合わせて、子供たちは目標やめあてを決めています。言うまでもありませんが、目標は決めて終わりではありません。自分で決めた目標に近づくために努力することが重要です。子供たちには以下のように話しました。

「3月に現役を引退したイチローさんは自身を振り返って『自分の中にある測りを使いながら、自分の限界をちょっと超えていくということを繰り返していく。そうすると、いつの間にかこんな自分になっているんだという状態になる。少しずつの積み重ねしか自分を超えていけないと思うんです。』と話していました。

中には、まとめて一気に取り組めばいいやと思う人もいるかもしれませんが、イチローさんはこのようにこう言っています。『一気に高みに行こうとすると、今の自分の状態とギャップがありすぎて、それは続けられないと僕は考えている。地道に進むしかない。』

目標やめあてに向かって、『自分の限界をちょっと超えること』を積み重ねていきましょう。

そして、定期的に振り返りを行い、時には目標やめあてを修正して、また自分の限界をちょっと超える努力を積み重ねていきましょう。きっと自分の成長を感じられるはずです。」

子供たちは、日々の成長で毎日自分の限界を超えている存在です。目標やめあてを意識できれば必ず近づくことができます。ご家庭でも、日々の成長を認めて励ましていただければ幸いです。



『研究奨励校』

お台場学園は、平成31年度、令和2年度の2年間、港区教育委員会の研究奨励校として「特別の教科 道徳」の研究を進めていきます。ご家庭でも道徳の授業の話聞いてみてください。

『バドミントン部 ブロック大会出場』

港区中学校春季大会において、

女子：準優勝、男子：3位の成績を収め、男女ともに港区代表としてブロック大会への出場が決まりました。

【いじめ防止対策の推進について】

本校では、全校の児童・生徒を対象に、毎月「学校生活アンケート」を実施しています。これは、児童・生徒が安心して学校生活を送れるように行っているものです。

アンケートの項目は、

- 最近、学校に来るのが楽しい。
- 最近、いやだなと思うできごとがあった。
- 最近、やる気がでないことがある。
- 最近、友達とのことで悩んでいることがある。

など、学校での生活全般に関わることから構成されており、先生へ相談したいことを自由に記述する欄も設けています。

アンケートの内容に応じて個別で面談を実施し、いじめの未然防止や早期発見に努めています。今後も子供たちが安心して生活できるよう、引き続き取り組んで参ります。

(小学校生活指導主任：植木 絵美・中学校生活指導主任：青山 麻希)

✿ご入学おめでとうございませう✿

春晴れの心地のよい風の中、真新しいランドセルを背負って、子供たちが入学しました。その眼差しはキラキラと輝き、これからの生活に期待いっぱいのお気持ちが今も伝わってきます。

教室では毎日が新しいことの連続です。次は何かとドキドキしながら、子供たちは、どんなことにも一生懸命に取り組んでいます。時には真剣に、時には楽しみながら、教室はいつも明るい笑い声に包まれています。

先日の1年生を迎える会では、6年生のお兄さん、お姉さんに先導され、花のアーチをくぐって入場し、歌や合奏、クイズを楽しみました。

1年生もお礼の歌を歌い、和やかに過ごすことができました。無事にお兄さん、お姉さんにお台場学園の一員として迎えられ、本格的に小学校生活がスタートしました。

新しく始まる学校生活が楽しく、元気に過ごしていけるよう努めて参ります。

代表の皆さん。
大きな声で堂々と
発表できました！



お兄さんお姉さんの発表も
しっかりと聞くことができました！

(1学年担任 藤本未来・野中美希)

学級委員会

4月15日(月)に第1回学級委員会が開かれ、今年度前期の活動方針や活動内容について話し合いました。

キャッチフレーズは、「学年・学級のために、一人一人の意見を尊重し、責任感をもって行動する学級委員会」です。

主な活動内容は、朝会の司会、中央委員会への参加、学級委員会便りの発行、整列・点呼、定期考査前予想問題の作成、あいさつ運動、学年レクの企画等です。新たな活動も計画していきたいと考えています。

全員がとても高い意欲をもっています。積極的に意見交換を行い、お台場学園全体をさらに向上させていけるように、毎日頑張っており取り組んでいます。これからの学級委員会の活躍に期待しています。よろしくお願ひいたします。

(担当:菅 善蔵・土屋 伸吾)

平成31年度集会委員会！



今年度の集会委員会は、初回の活動からエネルギーに溢れています。「今までにない企画を考えよう！」という意欲に満ちており、活発に意見が飛び交っています。

初の活動は一年生を迎える会の中で行った「レインボージャンケン」でした。ルール説明を劇風にアレンジしたり皆が楽しめるルールを新設したりと、学校のために工夫する様子が見られ、今年度のパワフルな活動を予感させました。平成31年度集会委員会を、どうぞよろしくお願ひいたします。

(担当:森島 康・塚本 早紀)

保護者の皆様へ

特別支援教室の通級及び学習支援員の配置の申し込みについて

小学校・中学校では、特別支援教室「そよかぜ教室」を開室しています。特別支援教室とは、生活面や学習面での困難を克服・改善するための指導を行うために設けられた教室です。

また、通常の学級の教室内での一斉指導において、苦手な部分を補うために、個別的に支援を行う学習支援員についてこれまで同様に配置を希望することができます。

現在、これらの支援を受けておらず、今後、特別支援教室の通級あるいは、学習支援員の配置を希望される保護者の方は6月7日(金)までに、担任、特別支援教育コーディネーター(菊池養護教諭)、または副校長にご相談ください。

※なお、2学期以降も継続して特別支援教室の利用や学習支援員の配置を希望される保護者の方につきましても、6月7日(金)までに、担任、特別支援教育コーディネーターまたは副校長に連絡してください。